

東日本大震災1年

観光立国は地方(地域)から推進を

「観光の力」で 東北復興を後押し

東日本大震災の発生と東京電力福島第1原子力発電所の事故から1年が経過した。観光業も大きな痛手を受けたが、少しずつ回復の兆しを見せ始めている。東北観光を盛り上げる動きも本格化しており、その動きを追った。今こそ観光の底力を見せる時だ。

東北観光博

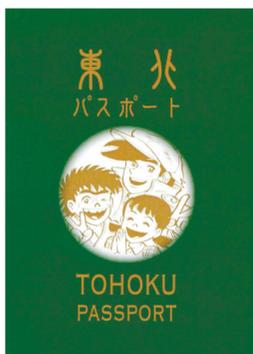
東北地方への観光を促進し、「観光の力」で東北復興を後押しする「東北観光博」が18日、本格的にスタートした。東北地方を一つの博覧会場に見立て、統一した観光情報を発信し、旅行者に特典などを提供する。国民に東北への旅行を呼びかけるのと同時に、全国の旅行会社や交通事業者にも送客を強化してもらい、低迷している東北への旅行需要を喚起する。期間は来年3月末まで。

旅行者に特典など提供 28の観光ゾーン設定 「国民運動」として推進

東北観光博は、国交・体験・交流型の観光プロモーションを推進し、観光客の誘致を図る。東北観光博は、国交・体験・交流型の観光プロモーションを推進し、観光客の誘致を図る。東北観光博は、国交・体験・交流型の観光プロモーションを推進し、観光客の誘致を図る。



18日に東京駅で行われたオープニングセレモニー(上)。東北各県のミス、ゆるキャラも勢ぞろい(左)



東北パスポート

「被災地への観光を促進し、観光の力」で東北復興を後押しする「東北観光博」が18日、本格的にスタートした。東北地方を一つの博覧会場に見立て、統一した観光情報を発信し、旅行者に特典などを提供する。国民に東北への旅行を呼びかけるのと同時に、全国の旅行会社や交通事業者にも送客を強化してもらい、低迷している東北への旅行需要を喚起する。期間は来年3月末まで。



東北六魂祭は、青森県から復興を願って、昨年7月に宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木の6県が初めて「東北六魂祭」を開催した。今年も盛岡市で5月26、27日に開催される。イベントなども予定されている。

東北・夢の桜街道



「語り会」のチラシ

青森県弘前市の弘前公園には、復興を願って、昨年7月に宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木の6県が初めて「東北六魂祭」を開催した。今年も盛岡市で5月26、27日に開催される。イベントなども予定されている。

WTTCサミット

東日本大震災からの復興の歩みを知って、復興の機会を世界に広げる。WTTC(世界旅行ツーリズム協議会)が主催するサミットが、仙台で開催される。



福島の大交流フェアで氣勢をあげる。福島県を首都圏にアピールし、復興の歩みを知って、復興の機会を世界に広げる。WTTC(世界旅行ツーリズム協議会)が主催するサミットが、仙台で開催される。

東北六魂祭

東北六魂祭は、青森県から復興を願って、昨年7月に宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木の6県が初めて「東北六魂祭」を開催した。今年も盛岡市で5月26、27日に開催される。イベントなども予定されている。